

議案第17号

令和3年度調布市郷土博物館事業計画（案）について

上記の議案を提出する。

令和3年3月26日

提出者 調布市教育委員会
教育長 大和田 正 治

提案理由

調布市郷土博物館処務規定第6条により、令和3年度調布市郷土博物館事業計画を策定するため、提案するものであります。

令和3年度

調布市郷土博物館事業計画（案）

調布市郷土博物館

方 針

郷土博物館は、市民の郷土に関する教養、学術及び文化の発展に寄与することを目的として、昭和49年に開館し、郷土の歴史や文化に関する資料、調布ゆかりの美術作品等を収集し、調査・研究を行い、地域の歴史・文化遺産を保存、記録してきた。収集した資料については、地域資源として新たな価値を見出し、展示や教育普及事業を実施することで、市民の地域に対する理解を深めるとともに、地域文化の醸成を図っている。

■郷土博物館事業

郷土博物館事業は、調布市教育プラン及び調布市社会教育計画に沿って、展示や多様な教育普及事業を実施し、地域で育まれた伝統文化に触れる機会を市民に提供する。また、自分たちが住んでいる身近な地域を知ることにより、子どもたちが地域社会の一員としての自覚をもち、地域社会に対する誇りと愛情を育てることができるよう郷土学習の機会を提供する。

学校教育連携事業は、学芸員を講師として学校へ派遣する出前授業や博物館資料の教材としての貸し出しなどを通じて授業に協力する。学校の団体見学では、学習指導要領に沿ってむかしの道具調べやむかしの道具を実際に使う体験を実施し、子どもたちの郷土学習を支援する。さらに、中学生の職場体験受入れなど、小・中学校との連携と相互交流を図り、学校からの要望の把握に努め、事業の充実と質の向上を目指していく。

また、福祉部門とも、シニア世代の市民が地域で生き生きと活動を続けられるよう、展示や講座などを通じて連携を図っていく。

令和3年度は、東京2020大会関連事業として令和2年度に引き続き、1964年の東京オリンピックと調布市や調布市民との関わりを資料とともに紹介する企画展を開催し、機運醸成や文化的レガシーの創出を目指す。

■文化財保護事業

文化財の保護事業は、市民とともに地域の文化財や伝統文化を保護・継承し、文化遺産を活用したまちづくりを目指すために、地域に根ざした文化財保護・活用事業を行う。

史跡の保護・活用は、国指定史跡下布田遺跡については、これまでに策定した保存活用計画及び整備基本計画に基づき、史跡公園開園に向けて整備事業を推進するとともに、市民協働・学校連携事業として積極的な取組みを図っていく。史跡の内容確認のための学術発掘調査も引き続き実施する。国指定史跡深大寺城跡については、第3郭を中心に保護すべき区域の追加指定を目指し、史跡保護のための公有化を進めていく。

深大寺の地域文化資源の活用については、令和元年度から国庫補助事業として取り組んでいる深大寺近代文書等史料調査について、その成果を目録としてまとめ、史料の散逸や亡失を防ぐとともに、保存活用体制を整備し地域の観光や文化発信に寄与する。

■武者小路実篤記念館の指定管理

平成26年4月に指定管理者となった一般財団法人武者小路実篤記念館については、引き続き適正な管理に努めていく。

郷土博物館の主な事業

1 郷土博物館事業

(1) 地域ゆかりの文化を生かした事業の展開(教育プラン主要事業3 4)

- ア 展示・普及事業の推進
- イ 資料の調査・研究と収集・保存
- ウ 学習機会についての情報発信
- エ 郷土の歴史や伝統文化について学習活動を行っている市民や市民団体への支援
- オ 学校教育との連携事業の推進
- カ 福祉部門との連携事業の実施

2 文化財保護事業

(1) 史跡・文化財の保存及び活用(教育プラン主要事業3 3)

- ア 国史跡下布田遺跡の保存用地の取得と整備・活用
- イ 国史跡深大寺城跡の整備・活用の検討
- ウ 国登録文化財真木家住宅の保存・管理
- エ 郷土芸能の保存と後継者育成への支援
- オ 深大寺地区を対象にした地域住民が中心となった文化遺産などの地域資源の活用の推進

事業計画一覧表

1 展示活動

区 分	会 期	テ ー マ	内 容
常 設 展	通 年	調布の歴史	原始・古代から近・現代までの調布の歩みを紹介する。
郷 土 学 習 展	令和3年1月13日 ～5月16日	ちょっと昔の暮らし	小学校3年生の郷土学習に対応し、道具の移り変わりや、近代・現代の調布の風景や暮らしの変化を紹介する。
企 画 展	7月6日～9月20日	1964東京オリンピックと調布	東京2020大会に関連し、1964年の東京オリンピックと調布市や調布市民との関わりを資料とともに紹介する。
企 画 展	10月中旬～12月中旬	多摩川と調布の暮らし	多摩川にまつわる調布の生業や習俗などについて、歴史・民俗資料から紹介する。
郷 土 学 習 展	令和4年1月12日 ～5月中旬	ちょっと昔の暮らし	小学校3年生の郷土学習に対応し、道具の移り変わりや、近代・現代の調布の風景や暮らしの変化を紹介する。
ギャラリー展	通 年	新収蔵資料、季節の行事、伝統文化、郷土玩具など	年間を通じて、新収蔵資料の紹介や節供・干支などの季節の題材を取りあげた展示などを行う。

深大寺水車館	通 年	水車のある暮らしと農業	武蔵野台地における農業や暮らしの様子を、水車の歴史とともに紹介する。
--------	-----	-------------	------------------------------------

2 教育普及活動

事業名		期 日	人数	内 容 ・ 講 師 ・ そ の 他
講座・講演会・見学会等	古文書に親しむ会	月2回（8月を除く）	20	古文書の解読実習。講師 笠原 綾氏
	映像でふり返る調布の昔	8月22日	20	調布市制作の広報映画や、地域の運動会・お祭り・伝統行事、職人の手仕事等の映像を見ながら、調布の昔を振り返る。
	1964聖火ランナー座談会&トーチを持ってランナー体験	7月11日	40	夏季企画展に関連して、1964年東京オリンピックで市内を走った聖火ランナーを招き、座談会を開催する。また、博物館の所蔵する実物のトーチを使ってのランナー体験をあわせて実施する。
	地域文化講演会	11月21日	40	調布史談会との共催で、調布市や多摩地域の歴史にちなんだ講演会を開催する。
子どもはくぶつかん 体験学習会等	木工教室	8月19日	8	鋸・金槌の使い方や木工について学ぶ。
	夏休み体験教室	7月～8月	—	夏休み期間にあわせ、地域の歴史にふれる体験教室を複数回開催する。
	しめ飾り教室	12月27日	20	正月行事のしめ飾り作りについて、作り方や習俗を学ぶ。

3 調査・研究活動

事業名	期 間	内 容
収集資料等のデータ・ベース整備	通 年	博物館資料等の調査・整理及びデータ化の整備作業を行う。
刊 行 物	通 年	展示パンフレット、郷土博物館だより、展示解説シート等の発行

4 文化財保護普及活動

事業名	期 間	内 容
文化財の指定・保存・活用	通 年	文化財保護審議会において、文化財の保存及び活用に関して、必要な調査・審議を行うとともに、文化財指定等について検討する。
地域史料の調査・研究	通 年	深大寺が所蔵する近代文書等の史料約6,000点の保存・活用のため史料調査を行い、目録を作成する。
文化財広報紙の発行	不定期	「調布の文化財」第63号・第64号の発行
埋蔵文化財年報の発行	3月	令和2年度の市内の遺跡発掘調査報告書の発行
遺跡見学会	随 時	市内の小・中学生、市民を対象にした遺跡発掘現場の見学会を実施する。
文化財ウォーク	10月～11月	市内または近隣区市と連携しながら各種文化財を巡る。
文化財見学会	10月～11月	深大寺と史跡深大寺城跡を中心に周辺地区の文化財を巡る。
文化財講演会	10月～11月	調布市内に所在する文化財に関する講演会を行う。
縄文の杜プロジェクト「千色工房」	4月～12月	縄文晩期の史跡下布田遺跡に自生する植物を利用した草木染、自然観察会及び清掃活動を実施する。市民参加プログラム事業として実施。
文化財防火運動	1月26日	文化財防火デーにあわせて、指定文化財等を所有する深大寺で防火訓練を行う。

5 伝統芸能の保存と後継者の育成

事業名	期 日	内 容
第63回調布市郷土芸能祭ばやし保存大会	6月27日	数少ない郷土芸能として各地区に伝承されている祭ばやしを保存し、後継者の育成を図るとともに、広く市民に伝統芸能鑑賞の機会を提供するため、祭ばやし保存大会を実施する。

6 埋蔵文化財の発掘及び整理調査

事業名	期 間	内 容
遺跡発掘調査	通 年	市内埋蔵文化財包蔵地内において、土木・建築工事等により、遺跡の破壊が避けられない場合は、事前に発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図っていく。
遺跡整理調査	通 年	埋蔵文化財の発掘調査により出土した遺構・遺物を考古学的に整理し、記録保存のため発掘調査報告書を作成する。また、展示等に活用するため、出土品の保存及び復元を行う。

7 国指定史跡・下布田遺跡及び深大寺城跡の整備・活用

事業名	期 間	内 容
史跡下布田遺跡の整備・活用	通 年	保存活用計画及び整備基本計画に基づき、史跡公園開園に向けて、整備事業を推進する。市民協働・学校連携事業として積極的な取組みを図る。史跡の内容確認のための学術発掘調査を実施する。
史跡深大寺城跡の整備・活用	通 年	保護すべき区域の追加指定及び史跡保存用地の取得を目指す。見学会・講演会等の普及啓発事業を実施する。

8 国登録有形文化財真木家住宅の保存・管理

事業名	期 間	内 容
国登録有形文化財真木家住宅の保存・管理	通 年	日本館・洋館及び庭園の日常管理のほか、保存活用計画策定に向け関係各所との協議を行う。

9 東京都文化財保存整備区市町村協議会の運営

事業名	期 間	内 容
東京都文化財保存整備区市町村協議会総会及び研修会	7月	令和3年度東京都文化財保存整備区市町村協議会総会及び講演会・現地視察等を開催する。